

保育所で木に親しむ・触れる

和歌山県全域の保育所などで「キノピー教室」が開かれています。森の妖精「キノピー」をテーマにした紙芝居「森ができるまで」を読み聞かせ、幼児にも分かりやすく、森林の仕組みや自然の大切さを身近に感じられるよう伝えていきます。

当町でもキノピー教室を開催し、町独自の事業として木工体験を併せて行っています。今年度は清水地域の間伐材からできたスギとヒノキの木片を使い、それぞれの色やにおい、重さ、硬さなどの違いを五感を使って認識しながら、子どもたち自身の手で積み木を作りました。自分たちの手で作った積み木を使っていくことで、ものを大切にする心が育まれることを願います。

小中学校で「緑育」の授業

和歌山県内の小中学校、高等学校などで「紀の国緑育推進事業」が行われています。森林で遊び、学ぶ活動を通じて県内の豊かな森林や林業、環境問題への関心を高め、森林を守り育てる意識を育んでもらうことを目的としています。

当町の小中学校でも「緑育」の授業が開講され、今年度は小学校4校、中学校1校が行いました。



町内の小学校で実施する緑育の授業（写真は鳥屋城小学校）

TOPIC

有田川町の ふるさと納税 返礼品

当町にふるさと納税いただいた方がお選びいただける返礼品の中に、清水地域のヒノキを使った積み木と割りばしがあります（マルカ林業株式会社提供）。清水地域の紀州材の良さを目と鼻と肌で感じていただける返礼品です。

※有田川町民の方は、当町にふるさと納税いただいても返礼品をお受け取りいただけません。ご了承ください。

